

## HP OpenVMS Integrity

---

# アップデート・キット VMS84I\_UPDATE- V0800 リリース・ノート

2013年5月

本書では、OpenVMS Integrity V8.4 に対するアップデートキットである VMS84I\_UPDATE-V0800 の概要、インストール方法、および本キットにより修正される問題点について説明しています。

日本ヒューレット・パカード株式会社

---

© 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Confidential computer software. Valid license from HP and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying.

Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Neither HP nor any of its subsidiaries shall be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is provided "as is" without warranty of any kind and is subject to change without notice. The warranties for HP products are set forth in the express limited warranty statements accompanying such products. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

#### DISCLAIMER OF WARRANTY AND LIMITATION OF LIABILITY

THIS PATCH IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. IN NO EVENT WILL HP BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE OR PROFIT, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, WITH RESPECT TO ANY PATCH MADE AVAILABLE HERE OR TO THE USE OF SUCH PATCH.

原典：本書は『HP OpenVMS Update Kit for Integrity Servers VMS84I\_UPDATE-V0800 ECO Cover Letter』の情報を元に作成しています。

---

# 目次

まえがき	vii
<b>1 キットの概要</b>	
1.1 本アップデートキットの概要	1-1
1.2 キット名	1-1
1.3 キットの説明	1-1
1.3.1 インストールの必要性	1-1
1.3.2 リブートの必要性	1-2
1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン	1-2
1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート	1-2
1.4 本キットにより旧版となるキット	1-2
1.5 依存するキット	1-3
1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット	1-3
<b>2 インストールに関する注意事項</b>	
2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ	2-1
2.2 圧縮ファイルの展開	2-1
2.3 インストールのためのコマンド	2-1
2.4 インストール時のプロンプト表示の制御	2-2
2.5 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて	2-3
<b>3 VMS84I_UPDATE-V0800 キットで提供される新機能および解決される問題</b>	
3.1 新機能	3-1
3.1.1 チャネル状態遷移イベントに関する PEDriver の新しい OPCOM メッセージ	3-1
3.1.2 AES アルゴリズムを使用した ENCRYPT /AUTHENTICATE コマンドによるメッセージ認証符号 (MAC) の生成	3-2
3.1.3 ファイルシステム (F11BXQP) のディレクトリ操作に追加された一貫性チェック機能	3-4
3.1.4 ディレクトリ探索性能の低下を回避するためのパラメータ設定	3-6
3.1.5 BCM5704 LOM での VC Flex-10 内部接続モジュールのサポート	3-7
3.2 解決される問題	3-7
3.2.1 ACMESSERVER.LOG に対して ACME LDAP ユーザーに関する間違っ たエラーメッセージ "acmekcv\$cb_allocate_wqe_vm() failed" が出力され る問題	3-7
3.2.2 ACME ドキュメントの変更	3-8

3.2.3	Multinet スタックが使用され仮想ターミナル (VTA) が有効な場合に ACME_SERVER プロセスがクラッシュする問題	3-8
3.2.4	ACME ログインがハングする問題	3-9
3.2.5	ハードウェアエラーやネットワーク障害が無いにもかかわらず PEDriver で多数の重複パケットが見られる問題	3-10
3.2.6	IP で構築された長距離 OpenVMS クラスタ環境でパケット再送信が発生 し性能に影響を及ぼす問題	3-10
3.2.7	"XQPERR, Error detected by file system XQP"メッセージを伴ってシ ステムがクラッシュする問題	3-11
3.2.8	DFO などのディスクフラグメント・ツールの利用時にディレクトリファ イルが壊れる問題	3-12
3.2.9	多数のディレクトリファイルの名前を変更した場合にファイルシステム の応答時間の遅延あるいはシステムクラッシュが発生する問題	3-12
3.2.10	XQPERR BUGCHECK "Unexpected lock manager error"が発生する問 題	3-13
3.2.11	XQP FID キャッシュにおける不正な FID 値のため BADFID BUGCHECK でシステムクラッシュが発生する問題	3-13
3.2.12	"PTRCNT, ACP block count exceeds retrieval pointer size"バグチェッ クを出力してシステムがクラッシュする問題	3-14
3.2.13	64xx Smart Array コントローラが接続されている Integrity サーバーに おける VMS84I_UPDATE-V0700 キットの問題	3-14
3.2.14	BL860c/870c/890c i2 で LAN フェールオーバーデバイスが到達不可能に なる問題	3-14
3.2.15	rx2600 の LOM デバイスで開始された VLAN における TCP/IP の障 害	3-15
3.2.16	UCBS\$L_LINK ポインターを使用している場合に LAN\$COMPLETE_RCV_CSMACD_C+00B31 で INVEXCEPTN クラ ッシュが発生する問題	3-15
3.2.17	SYSS\$SETUAI が UAF フィールドの BYTLM および FILLM クォータ値 として負の数を受け入れてしまう問題	3-16
3.2.18	MIME ユーティリティで送信したファイルが不完全なファイルとして受 信される問題	3-16
3.2.19	CONV\$CONVERT() API が SYSTEM-F-ACCVIO (Alpha) あるいは CONV-F-OPENIN (Integrity) でフェールする問題	3-17
3.2.20	DCL の COPY コマンドが UNICODE 文字を含む長いファイル指定で使 用された場合に適切でないエラーメッセージを発行する問題	3-17
3.2.21	name.DIR 形式のディレクトリがすでに存在する場合 に name^.DIR.DIR 形式のディレクトリファイルを作成できない問題	3-18
3.2.22	ファイル拡張子が.DIR だがディレクトリではない UNICODE 文字を含 むファイルを繰り返しディレクトリ探索するとフェールする問題	3-18
3.2.23	RMS グローバルバッファ使用時にプロセスがハングする問題	3-19
3.2.24	ローカルあるいはリモートのサービス拒否によりログインが失敗すると いう問題	3-19
3.2.25	SORT ユーティリティで大きなファイルを処理した場合に INSVIRMEM エラーが発生する問題	3-20

#### 4 OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

## A 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### 例

3-1	128 ビットキーの使用 .....	3-3
3-2	256 ビットキーの使用 .....	3-4

### 表

1-1	本アップデートキットに含まれるキット一覧.....	1-3
-----	---------------------------	-----



## 本書の目的

本書では、VMS84I\_UPDATE-V0800 のインストール方法と、本キットにより修正される問題点について説明しています。

## 対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。

## 本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

第 1 章	本アップデートキットについて概要を説明しています。
第 2 章	本アップデートキットのインストールに関する注意事項について説明しています。
第 3 章	本アップデートキットにより修正される問題点について説明しています。
第 4 章	本アップデートキットに含まれているパッチキットのリリースノートについて説明しています。
付録 A	本アップデートキットのインストールにより修正されるファイルの一覧を示しています。

## 関連資料

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0700 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0800 リリース・ノート』

これらのドキュメントは下記の URL で参照できます。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>

## 本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/xという表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 xという表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Return</span>	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 文中のオプションの引数が省略されている。</li><li>• 前出の1つまたは複数の項目を繰り返すことができる。</li><li>• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。</li></ul>
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
( )	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[ ]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか1つを選択しても、あるいは1つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[   ]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを1つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか1のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i> )、コマンド・ライン (たとえば <i>/PRODUCER=name</i> )、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i> ) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。 C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。
-	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。



表記法	意味
数字	特に明記しない限り，本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数，8 進数，16 進数) は，その旨を明記してあります。



---

## キットの概要

---

### 1.1 本アップデートキットの概要

本アップデートキットの概要は以下のとおりです。

対象バージョン:	OpenVMS for Integrity Servers V8.4
キットサイズ:	294856 ブロック
インストレーション・レーティング:	INSTALL_1
リブートの必要性:	必要
インストレーションに関する注意事項:	有
本キットにより旧版となるキット:	VMS84I_UPDATE-V0700
依存する必須キット:	VMS84I_PCSI-V0400 (あるいはそれ以降の PCSI アップデートキット)
オプションの依存キット:	無し

チェックサム:

```
VMS84I_UPDATE-V0800.ZIPEXE Checksum: 1115636661
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V0800--4.PCSI$COMPRESSED Checksum: 2000961617
VMS84I_UPDATE-V0800.ZIPEXE MD5 Checksum:
D4A4160FAD6E19A42504339386CF998C
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V0800--4.PCSI$COMPRESSED MD5 Checksum:
FECCF9D2C795F381FD98E89DE5FEB3E1
```

---

### 1.2 キット名

本キットのキット名は以下のとおりです。

- VMS84I\_UPDATE-V0800

---

### 1.3 キットの説明

#### 1.3.1 インストレーションの必要性

インストール・レーティング	説明
INSTALL_1	対象ユーザーは全ユーザーです。すべてのシステムでインストールが必要です。

現在の CLD 情報に基づいて示されたこのインストレーション・レーティングは、この修正キットの適用が必要なシステムについて示しています (本書のコピーライト情

## キットの概要

### 1.3 キットの説明

報のページの Disclaimer of Warranty and Limitation of Liability Statement を参照)。

#### 1.3.2 リブートの必要性

本パッチのインストール時にはリブートが必要になります。

システムが不安定になるのを防ぐために、キットのインストール直後にリブートすることを強くお勧めします。OpenVMS クラスタ環境内に他のノードが存在する場合は、新しいイメージを使用するようにそれらのシステムもリブートする必要があります。クラスタ全体のリブートが不可能あるいは不都合がある場合は、ローリング・リブートの実行を検討してください。

#### 1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン

本キットは OpenVMS の下記のバージョンに対して適用してください。

- OpenVMS for Integrity Servers V8.4

#### 1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート

このアップデートキットでサポートする新しいハードウェアはありません。

このアップデートキットでは以下の新機能をサポートします。

- チャンネル状態遷移イベントに関する PEDriver の新しい OPCOM メッセージ (第 3.1.1 項)
- AES アルゴリズムを使用した ENCRYPT /AUTHENTICATE コマンドによるメッセージ認証符号 (MAC) の生成 (第 3.1.2 項)
- ファイルシステム (F11BXQP) のディレクトリ操作に追加された一貫性チェック機能 (第 3.1.3 項)
- ディレクトリ探索性能の低下を回避するためのパラメータ設定 (第 3.1.4 項)
- BCM5704 LOM での VC Flex-10 内部接続モジュールのサポート (第 3.1.5 項)

---

## 1.4 本キットにより旧版となるキット

本キットは、下記のアップデートキットの後継キットです。

- VMS84I\_UPDATE-V0700

## 1.5 依存するキット

本キットあるいは必要なキットをインストールする前に、以下の修正キット（あるいはそれ以降にリリースされた修正キット）をインストールしておく必要があります。

- VMS84I\_PCSI-V0400

## 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

VMS84I\_UPDATE-V0800 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。VMS84I\_UPDATE-V0800 キットに含まれているキットの一覧は表 1-1 のとおりです。

なお表 1-1 では、以前のバージョンの VMS84I\_UPDATE キットでも同じパッチキットが提供されている場合は、そのアップデートキット名を示してあります。

表 1-1 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されれている場合のキット名
VMS84I_ACMELDAP-V0100	
VMS84I_ACRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_DEBUG-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0200	
VMS84I_ENCRYPT-V0100	
VMS84I_F11X-V0100	
VMS84I_F11X-V0200	
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0300	
VMS84I_FORRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_IPC-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_LAN-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_LAN-V0200	
VMS84I_LOADSS-V0100	
VMS84I_LOGINPLUS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_LOGINPLUS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MIME-V0100	
VMS84I_MSCP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MUP-V0300	(VMS84I_UPDATE-V0700)

(次ページに続く)

## キットの概要

### 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

表 1-1 (続き) 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されれている場合のキット名
VMS84I_MUP-V0400	
VMS84I_RMS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_RMS-V0300	
VMS84I_SHADOWING-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_SORT32-V0100	
VMS84I_SYS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_SYSLOA-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_UPDATE-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_UPDATE-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_UPDATE-V0300	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_UPDATE-V0500	(VMS84I_UPDATE-V0600)

---

## インストールに関する注意事項

---

### 2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ

OpenVMS エンジニアリングに報告された問題をデバッグする過程で、お客様のシステムにデバッグイメージやテストイメージのインストールをお願いしている場合があります。通常これらのイメージには、OpenVMS の修正パッチプロセスによってリリースされるイメージと同様の生成フラグは付与されません。このため、SYS\$COMMON 領域に存在するデバッグイメージおよびテストイメージは、本キットでインストールされる同じ名前のイメージで置き換えられます。この場合、置き換えられたイメージで提供していた機能は失われることになります。これらのデバッグイメージあるいはテストイメージを残したい場合は、次のような操作を行ってください。

- 本キットをインストールする前に、保管するテストイメージ/デバッグイメージを SYS\$SPECIFIC 領域に移動してください。
- キットのインストール中、SYS\$SPECIFIC にあるイメージを削除するかどうか質問されます。ここで、残したいイメージに対しては NO と応答してください。
- インストールが完了した後、システムをリブートする前 (必要な場合) に、SYS\$SPECIFIC から SYS\$COMMON へそのイメージを戻してください。

---

### 2.2 圧縮ファイルの展開

本キットは自己解凍の ZIPEXE キットとして提供されています。このファイルをインストール可能な PCSI ファイルに展開する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ RUN VMS84I_UPDATE-V0800.ZIPEXE
```

---

### 2.3 インストールのためのコマンド

本キットのインストールは、SYSTEM アカウントでログインして DCL プロンプトで次のように入力し、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用し行ってください。

```
PRODUCT INSTALL VMS84I_UPDATE[/SOURCE=キットの場所]
```

## インストールに関する注意事項

### 2.3 インストールのためのコマンド

なお、本キットは/SAVE\_RECOVERY\_DATAオプションが有効な状態でインストールされます。この修飾子を使用すると、何らかの問題が発生した場合にシステムからこのキットを簡単に削除することができます。このオプションを無効にした場合は、PRODUCT INSTALLコマンドで/NOSAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子を使用します。/SAVE\_RECOVERY\_DATA修飾子の使用は任意ですが、使用することを強くお勧めします。

/SOURCE修飾子には、このキットが含まれているCDあるいはディスク・ディレクトリを指定します。現在のディレクトリにキットが存在する場合にはこの修飾子の指定は省略できます。

PCSI キットのインストールに関するその他のヘルプ情報は、DCL プロンプトでHELP PRODUCT INSTALLと入力することにより参照できます。

---

## 2.4 インストール時のプロンプト表示の制御

本キットのインストール中、ユーザーによる応答が不要ないくつかの質問が表示されます。質問に対して応答せずにインストールを自動化したい場合は、次のような論理名定義とコマンドを含んだDCL コマンドプロシージャを作成する必要があります。

- バックアップに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
```

- リブートに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
```

- \*.\*\_OLD の名前で置き換えられたファイルを保管しておく場合は、次の論理名を YES と定義してください。置き換えられたファイルの保管が必要ない場合は、次の論理名を NO と定義してください。なお、PRODUCT INSTALL コマンドで/SAVE\_RECOVERY\_DATA 修飾子を指定した場合 (指定することを推奨します)、置き換えられたすべてのファイルは保管されます。この場合、\*.\*\_OLD の保管を指定する必要はありません。

```
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
```

- PRODUCT INSTALL コマンドに次の修飾子を追加して、DCL コマンドプロシージャに追加してください。

```
/PROD=HP/BASE=I64VMS/VER=V8.0 [/SOURCE=キットの場所]
```

- 割り当てられた論理名を再定義します。



VMS84I\_UPDATE-V0800 キットをインストールするためのコマンドファイルの例を以下に示します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
$!
$ PROD INSTALL VMS84I_UPDATE/PRODUCER=HP/BASE=I64VMS/VER=V8.0
$!
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT
$!
$ exit
$!
```

---

## 2.5 VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて

VMS84I\_UPDATE-V0800 アップデートキットには VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットが統合されています。VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットには、SYSSACM 対応 (ACMELOGIN) のログインイメージと従来から提供されている SYSSACM 非対応の標準のログインイメージが含まれています。

VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットは、システムにインストールされている LOGINOUT.EXE および SETP0.EXE が SYSSACM 対応であるか SYSSACM 非対応であるかをインストール時に検出し、この結果をもとに SYSSACM 対応あるいは SYSSACM 非対応のいずれかのログインイメージを自動的に置き換えます。このため、どちらのバージョンのログインイメージをインストールするかをユーザーが選択する必要はありません。



---

## VMS84I\_UPDATE-V0800 キットで提供される新機能および解決される問題

この章では、VMS84I\_UPDATE-V0800 アップデートキットに含まれている各パッチキットで提供される機能、および修正される問題について説明しています。

なお、この章では、VMS84I\_UPDATE-V0800 アップデートキットで新たに提供されるパッチキットによる修正点のみを説明します。VMS84I\_UPDATE-V0800 アップデートキットは累積キットになっているため過去にリリースされたすべてのパッチキットが含まれていますが、以前のバージョンのアップデートキットでも提供しているパッチキットによる修正点については、それぞれのバージョンのアップデートキットのリリースノートを参照してください。詳細は第 4 章を参照してください。

---

### 3.1 新機能

#### 3.1.1 チャネル状態遷移イベントに関する PEDriver の新しい OPCOM メッセージ

キット名：VMS84I\_DRIVER-V0200

以下のイベントについての OPCOM メッセージを生成するように PEDriver が拡張されています。

- チャネル状態がオープンになった。
- チャネル状態がクローズされた。
- チャネルが ECS (Equivalent Channel Set) に入る。
- チャネルが ECS から出る。

また、これらのメッセージは[SYSMGR]OPERATOR.LOG に記録されます。

この機能を有効にするためには、チャネルメッセージおよび ECS メッセージのために、SYSGEN パラメータ PE3 のビット 3 およびビット 4 をそれぞれ設定する必要があります。下記の例では、チャネルおよび ECS 遷移メッセージの両方を有効にしています。

```
$ mc sysgen
SYSGEN> USE ACTIVE
SYSGEN> SET PE3 24
SYSGEN> WRITE ACTIVE
```

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYSEXEC]OPCOM.EXE
- [SYSMSG]SYSMSG.EXE
- [SYSEXEC]OPCOM.STB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB

### 3.1.2 AES アルゴリズムを使用した ENCRYPT /AUTHENTICATE コマンドによる メッセージ認証符号 (MAC) の生成

キット名 : VMS84I\_ENCRYPT-V0100

ENCRYPT /AUTHENTICATE コマンドに、メッセージ認証符号 (MAC) の生成のために AES キーの使用を指定する新しい /AES 修飾子が追加されています。この新しい修飾子は、値として AES128 (デフォルト値)、AES192 あるいは AES256 をとることができます。これらの値はそれぞれ、128、192 あるいは 256 ビットのキー長を指定します。この新しい機能の使用方法を説明するために ENCRYPT /AUTHENTICATE のヘルプが変更されています。

例 3-1 および例 3-2 に使用例を示します。

---

#### 注意

---

AES からの MAC 値はリストされるファイル表示よりも長くなるため、80 カラム幅のスクリーンに表示すると 1 行に収まりません。

ENCRYPT/AUTHENTICATE コマンドで /AES 修飾子を省略した場合、MAC の生成には DES アルゴリズムが使用されます。

---

関係するイメージ :

- [SYSEXEC]ENCRYPT\$AUTH.EXE
- [SYSLIB]ENCRYP\$HR.EXE
- [SYSMSG]ENCRYPT\$\_MSG.EXE
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD

例 3-1 128 ビットキーの使用

```
$ ENCRYPT/CREATE_KEY/AES MY_AES_KEY16 "My AES Key length>16"
$ ENCRYPT/AUTHENTICATE FILE.TXT MY_AES_KEY16 /AES=AES128 /UPDATE
%ENCRYPT-I-NEWDB, new authentication code database has been created
%ENCRYPT-I-NEWSECDB, new authentication security settings database has been created
%ENCRYPT-I-SUMMARY1, Summary: Files successfully authenticated: 0
%ENCRYPT-I-SUMMARY2, Files failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SUMMARY3, Files not in database: 1
%ENCRYPT-I-SECSUMM1, Summary: Security settings authenticated: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM2, Security settings failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM3, Security settings not in database: 1

$ ENCRYPT/AUTHENTICATE FILE.TXT MY_AES_KEY16 /AES
%ENCRYPT-I-NOUPDATE, database will not be updated with new authentication codes
%ENCRYPT-I-SUMMARY1, Summary: Files successfully authenticated: 1
%ENCRYPT-I-SUMMARY2, Files failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SUMMARY3, Files not in database: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM1, Summary: Security settings authenticated: 1
%ENCRYPT-I-SECSUMM2, Security settings failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM3, Security settings not in database: 0

$ TYPE SYS$LOGIN:ENCRYPT$MAC.LIS
File Integrity Report 22-DEC-2011 15:21:29.04
Page 1
Authentication database: SYS$SYSROOT:[SYSMGR]ENCRYPT$MAC.DAT;1
```

Filename

```
=====
SPRING$DKA100:[TEST]FILE.TXT;1
  owner: [1,1] prot: (RWED, RWED, RE, )

Summary: Files successfully authenticated: 1
  Files failing authentication: 0
  Files not in database: 0

Summary: Security settings authenticated: 1
  Security settings failing authentication: 0
  Security settings not in database: 0

$
```

HP Encryption V2.2

Stored MAC	Current MAC	Status
EE9731A9F0C4EB6E96C6836DF0594F34	(same)	
BD94A582201687EE755665D95170DCE6	(same)	

- [SYSUPD]DCLDICT.HLP

## VMS84I\_UPDATE-V0800 キットで提供される新機能および解決される問題

### 3.1 新機能

#### 例 3-2 256 ビットキーの使用

```
$ DEL SYS$LOGIN:ENCRYPT$SEC_MAC.DAT;
$ DEL SYS$LOGIN:ENCRYPT$MAC.DAT;
$ ENCRYPT/CREATE_KEY/AES MY_AES_KEY32 "TEST TEST TEST My AES Key length>32"
$ ENCRYPT/AUTHENTICATE FILE.TXT MY_AES_KEY32 /AES=AES256 /UPDATE
%ENCRYPT-I-NEWDB, new authentication code database has been created
%ENCRYPT-I-NEWSECDB, new authentication security settings database has been created
%ENCRYPT-I-SUMMARY1, Summary: Files successfully authenticated: 0
%ENCRYPT-I-SUMMARY2, Files failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SUMMARY3, Files not in database: 1
%ENCRYPT-I-SECSUMM1, Summary: Security settings authenticated: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM2, Security settings failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM3, Security settings not in database: 1
$ ENCRYPT/AUTHENTICATE FILE.TXT MY_AES_KEY32 /AES=AES256
%ENCRYPT-I-NOUPDATE, database will not be updated with new authentication codes
%ENCRYPT-I-SUMMARY1, Summary: Files successfully authenticated: 1
%ENCRYPT-I-SUMMARY2, Files failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SUMMARY3, Files not in database: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM1, Summary: Security settings authenticated: 1
%ENCRYPT-I-SECSUMM2, Security settings failing authentication: 0
%ENCRYPT-I-SECSUMM3, Security settings not in database: 0
$ TYPE SYS$LOGIN:ENCRYPT$MAC.LIS
File Integrity Report 22-DEC-2011 16:00:55.59
Page 1
Authentication database: SYS$SYSROOT:[SYSMGR]ENCRYPT$MAC.DAT;1
Filename
=====
SPRINGS$DKA100:[TEST]FILE.TXT;1
owner: [1,1] prot: (RWED, RWED, RE, )
Summary: Files successfully authenticated: 1
Files failing authentication: 0
Files not in database: 0
Summary: Security settings authenticated: 1
Security settings failing authentication: 0
Security settings not in database: 0
$
HP Encryption V2.2
Stored MAC Current MAC Status
=====
906C6DEFD7C7488D3AFC0D86A8119E9400CA238B1EF46C0838A06073015DA859 (same)
00000000000000000000000000000000CED645E15E6A590C3EBFFBD3BE57CB0A (same)
```

### 3.1.3 ファイルシステム (F11BXQP) のディレクトリ操作に追加された一貫性チェック機能

キット名: VMS84I\_F11X-V0100

OpenVMS ユーザーからディレクトリファイルにおいて不整合が発生するとの報告を受けているため、SYSGEN パラメータに、問題確認のための手段が追加されています。

あるケースでは、ディレクトリレコードがアルファベット順にならないという現象が報告されています。別のケースでは、レコードが古い状態のままであると報告されています。また、別のケースでは、存在すべきレコードが消えていると報告されています。これらのすべてのケースでは、現象が発生しているディレクトリファイルが数百から数千のブロック長を持ち、ディレクトリ内に、最初の 12 ~ 17 文字が同一もしくは非常に類似した複数の長いファイル名のファイルが含まれています。また、これらのディレクトリでは、多数のファイルが多くのバージョンを残して存在すると報告されています。

HP によるテストではこの現象はまだ再現していませんが、ファイルシステム (F11BXQP) のディレクトリ操作に新しい一貫性チェック機能を追加し、ディレクトリ不整合を発見した場合に必要なに応じてシステムユーザーに OPCOM で警告を出すよう、イメージが拡張されています。

新しいイメージでは、以下のような OPCOM メッセージが表示されます。

```
EVENT : DIRECTORY CORRUPTION DETECTED
VOLUME LABEL = FOO
DIR_FID = (123,0,0)
DIR FILE NAME = FOO.DIR;1
MISSING FILE NAME = FOO1.TXT
EVENT : DIRECTORY CORRUPTION DETECTED
VOLUME LABEL = FOO
DIR_FID = (123,0,0)
DIR FILE NAME = FOO.DIR;1
UNEXPECTED EFBLK UPDATE
```

この新しい機能の動作は、SYSGEN パラメータ XQPCTLD7 のビット 0、1、および 2 の設定によって制御されます。

XQPCTLD7 のデフォルト値はゼロで、この場合 XQP は、ファイル作成/削除操作の前後に、新しい増分カウンターを使用してディレクトリエントリー数を確認します。

このデフォルト値は、ほとんどのシステムで適切な値となっています。XQP の以前の動作との違いは、上記のような追加確認を行うかどうかだけで、この確認処理のために余分にかかる負荷はわずかです (1%未満)。

ディレクトリファイルに不整合が見られ、その問題が将来も繰り返し発生しそうな場合は、XQPCTLD7 を以下のように修正して HP に問題解決の支援を求めてください。

### 3.1 新機能

ビット 0 を設定すると、XQP は既知のパターンをディレクトリファイルの未使用ブロックに埋め込みます。これにより、XQP がディレクトリ不整合の原因を検出しやすくします。このチェックを有効にすることによる性能上の影響は、ファイルの作成/削除操作に関しては 3%程度、その他の操作に関してはわずかです。

ビット 1 を設定すると、XQP は、不整合を検出した場合にインラインバグチェックを要求します。これにより、HP がこの問題の原因を調べる際に役に立つ、システムダンプが生成されます。ビット 1 のデフォルト設定はクリア (ゼロ) で、この場合、不整合を検出した際、XQP は OPCOM メッセージを報告するのみで、バグチェックは要求しません。

ビット 2 は、上記で説明した新しい動作 (XQPCTLD7=0) を無効にする際に設定します。XQPCTLD7 は動的な SYSGEN パラメータなので、このパラメータに対する設定変更はリブート無しで有効になります。

このパラメータは、ODS-2 および ODS-5 ボリュームの両方に対して適用されます。関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYS\$LDR]F11BXQP.STB

#### 3.1.4 ディレクトリ探索性能の低下を回避するためのパラメータ設定

キット名：VMS84I\_F11X-V0100

非常に大きなディレクトリ (数万の単位でファイルを含むディレクトリ) でファイルの作成やアクセス、あるいは削除を行った場合に、期待した性能が出ない場合があります。この現象は、ディレクトリの探索速度を上げるためにディレクトリのインデックスキャッシュがどのように作成されているかに関係します。このため、パッチキット VMS732\_F11X-V0500 および VMS821I\_F11X-V0100、さらには OpenVMS V8.3 で、多くのシステムで性能を向上させるための変更が導入されています。

しかし、限られた一部のシステムにおいて、この変更が原因でディレクトリ探索性能の低下が発生する場合があります。この性能低下は、非常に大きなディレクトリでファイル名の最初の 2 文字が変動するような場合に報告されています。

このため、システム管理者が必要に応じてシステムの動作を以前の古い動作に戻すことが可能になっています。SYSGEN の動的パラメータ XQPCTLD7 でビット 3 を設定することによって、ファイルシステムが以前のロジックで動作するようになります。デフォルトではこのビットはクリアで、以下のように SYSGEN で設定できます。



```
$ MCR SYSGEN  
SYSGEN> USE ACTIVE  
SYSGEN> SET XQPCTLD7 8  
SYSGEN> WRITE ACTIVE  
SYSGEN> EXIT  
$
```

あるいは、システムをリブートする場合は次のように設定します。

```
$ MCR SYSGEN  
SYSGEN> USE CURRENT  
SYSGEN> SET XQPCTLD7 8  
SYSGEN> WRITE CURRENT  
SYSGEN> EXIT  
$
```

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

### 3.1.5 BCM5704 LOM での VC Flex-10 内部接続モジュールのサポート

キット名：VMS84I\_LAN-V0200

VC Flex-10 モジュール (455880-B21) を装備した BL870c/BL860c の LOM (LAM On Motherboard) デバイス (BCM5704) において、オートネゴシエーションが無効になっていないとリンク状態が DOWN となる問題がありました。

本キットにより、BL860c/BL870c VC Flex-10 モジュールのサポートが追加されます。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700.EXE
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.STB

---

## 3.2 解決される問題

### 3.2.1 ACME\$SERVER.LOG に対して ACME LDAP ユーザーに関する間違ったエラーメッセージ "acmekcv\$cb\_allocate\_wqe\_vm() failed"が出力される問題

キット名：VMS84I\_ACMELDAP-V0100

## VMS84I\_UPDATE-V0800 キットで提供される新機能および解決される問題

### 3.2 解決される問題

問題の説明：

これまでは、ACME LDAP ユーザーがパスワード無しでシステムにログインしようとすると、ターミナルに次のようなエラーメッセージが表示されていました。

```
"Operation failure; if logging is enabled, see details in  
the ACME$SERVER log file".
```

この際、ACME\$SERVER.LOG には次のようなエントリーが記録されていました。

```
ACME_-I-TRACE, MESSAGE FROM THE MESSAGE FILE:  
acmekcv$cb_allocate_wqe_vm() failed
```

この動作は、acme\$server.log にacmekcv\$cb\_allocate\_wqe\_vm() failedというメッセージを記録するのではなく、ターミナルに認証失敗エラーを表示するように変更されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001182768、QXCM1001191113、QXCM1001206178、QXCM1001205941

### 3.2.2 ACME ドキュメントの変更

キット名：VMS84I\_ACMELDAP-V0100

問題の説明：

ACME ログインフレームワークの設定手順の変更を反映するためにドキュメントが変更されています。

関係するイメージ：

- [SYSHLP]ACME\_DEV\_README.TXT
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT
- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF

この問題を報告している Quix ケース：

なし

### 3.2.3 Multinet スタックが使用され仮想ターミナル (VTA) が有効な場合に ACME\_SERVER プロセスがクラッシュする問題

キット名：VMS84I\_ACMELDAP-V0100

問題の説明：

Multinet スタックが使用され仮想ターミナル (VTA) が有効な場合に、ACME\_SERVER プロセスがクラッシュすることがあるという問題がありました。

このクラッシュは、VMS ACME エージェントによってアクセスされるターミナルデバイスが TT\_PHYDEVNAM 情報を持たないために発生していました。

この問題を修正するために、TT\_PHYDEVNAM 情報が利用できない場合には、VMS ACME エージェントは仮想端末名を使用するように変更されています。

なお、TT\_PHYDEVNAM 情報が利用できない場合は、以下のような内容のエラーが出力されます。

- Could not get Physical terminal name - GETDVI on DVI\_TT\_PHYDEVNAM
- The virtual terminal name gets printed in second set of logs

関係するイメージ：

- [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESHR.EXE

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001206178

### 3.2.4 ACME ログインがハングする問題

キット名：VMS84I\_ACMELDAP-V0100

問題の説明：

ACME (SYSSACM 対応) のログイン環境で、ログイン処理が進まずタイムアウトエラーが発生する問題がありました。また、ACME\_SERVER プロセスがハングしているような状態になる場合もありました。

この場合、以下のようなエラーが ACME\$SERVER.LOG ファイルに記録されました。

```
-LOGIN-S-PROCSTEP, Processing Step was FINISH_PROCESSING_CALL_UAI_MODIFY  
-LOGIN-S-SUBPROGRAM, subprogram SYSUAI.SRV.MODIFY returned the error:  
-UAF-I-NOMODS, no modifications made to system authorization file  
  
-LOGIN-S-PROCSTEP, Processing Step was READ_UAI_CALLED_UAI_READ  
-LOGIN-S-SUBPROGRAM, subprogram SYSUAI.SRV.READ_RESULTS for user data  
supporting FINISH_PROCESSING_READ_UAI returned the error:  
-RMS-W-TMO, timeout period expired
```

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESHR.EXE

VMS84I\_UPDATE-V0800 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001216860

3.2.5 ハードウェアエラーやネットワーク障害が無いにもかかわらず PEDriver で多数の重複パケットが見られる問題

キット名：VMS84I\_DRIVER-V0200

問題の説明：

PEdriver は、再送信を行う前に再送信タイマーの値を再確認します。再送信に関する修正の一環で、再送信タイマーの値を増やすための新しいダイナミック SYSGEN パラメータ PE2 が利用できるようになりました。PE4 SYSGEN パラメータは ACK 留保時間と再送信タイマーの両方を指定します。このため、ACK 留保時間を減らすと、再送信タイマーの値も減るという結果になっていました。PE2 パラメータにより、再送信タイマーだけを個別に制御できます。なお、PE4 はこれまでと同じように機能します。

デフォルトでは PE2 の値はゼロです。PE2 に有効な値は、0 ~ 100 の値です。PE2 値の単位は 0.01 秒 (10ms) です。

たとえば再送信タイマーの設定を 20 ms だけ増やすには、PE2 の値を 2 に設定します。

```
$ mc sysgen
SYSGEN> USE ACTIVE
SYSGEN> SET PE2 2
SYSGEN> WRITE ACTIVE
```

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.STB

この問題を報告している Quix：  
QXCM1000985385

3.2.6 IP で構築された長距離 OpenVMS クラスタ環境でパケット再送信が発生し性能に影響を及ぼす問題

キット名：VMS84I\_DRIVER-V0200

問題の説明：

Cluster over IP (IPCI) 通信にはソケットバッファ・サイズに制約があり、VC でより大きな送信ウィンドウサイズに拡大ができませんでした。また、受信ソケットバッファがオーバーフローするとパケットの再送信が発生しました。

IPCI 通信に使用されるソケットの受信バッファサイズは、少なくとも 128 SCA パケットを保持できるよう増加されています。このサイズは、VC フロー制御メカニズムが自動的に拡大できる最大ウィンドウサイズです。管理インタフェースで受信ウィンドウサイズを大きくするには、ソケットの受信バッファサイズもそれに合わせて増やす必要があります。この操作は、ソケットの受信バッファサイズを指定した入力値に設定するための新しい SCACP コマンド、SET IP /SOCKET\_RECEIVE によって行われます。詳細は、本キットをインストールした後に SCACP HELP を参照してください。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSEXEC]SCACP.EXE

この問題を報告している PTR：

PTR 75-120-1643

### 3.2.7 "XQPERR, Error detected by file system XQP"メッセージを伴ってシステムがクラッシュする問題

キット名：VMS84I\_F11X-V0200

問題の説明：

まれに、ディスマウント時に IVLOCKID (無効なロック ID) のエラー状態を伴って XQPERR バグチェックが発生する場合があります。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している Quix ケースおよび PTR：

QXCM1000750135、QXCM1000969153 QXCM1001000418、  
QXCM1001154739、PTR 75-13-2453

### 3.2.8 DFO などのディスクフラグメント・ツールの利用時にディレクトリファイルが壊れる問題

キット名：VMS84I\_F11X-V0200

問題の説明：

MOVEFILE サブ関数を使用してディレクトリファイルを前後に移動すると、同時にそのディレクトリでファイル作成/削除操作が行われ、ディレクトリファイルが壊れる可能性がありました。

この場合、以下のような状態が発生しました。

- ディレクトリファイルを一覧表示する際にファイル名がアルファベット順に表示されない。
- ディレクトリからファイルが消える。
- ディレクトリを一覧表示させると削除済のファイルが再び現れる。
- ディレクトリ内に重複するファイル名が存在する。
- 一時的にファイルにアクセスできなくなり、その後再びアクセスが可能になる。
- システム領域の容量がいくらかシフトし、論理名変換モジュールなどの他のコンポーネントでシステムクラッシュをもたらす。

これらの問題は、DFO (Disk File Optimizer) が MOVEFILE サブ関数を使用した場合に発生する可能性がありました。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している Quix ケース：

QXCM1001201239

### 3.2.9 多数のディレクトリファイルの名前を変更した場合にファイルシステムの応答時間の遅延あるいはシステムクラッシュが発生する問題

キット名：VMS84I\_F11X-V0200

問題の説明：

OpenVMS V8.4 で、多数のディレクトリファイルのファイル名が変更されその後アクセスが無いと、ファイルシステムの応答が遅くなり、性能の低下につながります。この場合、最終的にはシステムクラッシュが発生する可能性がありました。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001219891

### 3.2.10 XQPERR BUGCHECK "Unexpected lock manager error"が発生する問題

キット名：VMS84I\_F11X-V0200

問題の説明：

以前のアクセスで特定のファイルの切捨てが完了していない場合、FIBSV\_NOLOCK ビットがセットされた状態で書き込みのためにファイルをオープンすると、特定の状況で、ファイルシステムでBUGCHECKが発生する場合があります。

この問題は修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001210589

### 3.2.11 XQP FID キャッシュにおける不正な FID 値のため BADFID BUGCHECK でシステムクラッシュが発生する問題

キット名：VMS84I\_F11X-V0200

問題の説明：

特定の状況で、XQP FID キャッシュが間違った FID 値のエントリーを持つ場合があります。これは、BADFID BUGCHECK でシステムクラッシュが発生する原因となります。

この問題を解決するために、XQP がこのエラー状況から自動的に回復し、ユーザーによる介入無しで通常どおり実行されるように修正されています。

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している Quix ケース：  
QXCM1001222197、QXCM1000441310、QXCM1001063553、  
QXCM1001170012

### 3.2.12 "PTRCNT, ACP block count exceeds retrieval pointer size"バグチェックを出力してシステムがクラッシュする問題

キット名： VMS84I\_F11X-V0100

問題の説明：

特定の状況でディスクのデフラグメント処理を行うと、"PTRCNT, ACP block count exceeds retrieval pointer size"バグチェックを出力してシステムがクラッシュするという問題がありました。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]F11BXQP.EXE
- [SYS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している PTR：

PTR 75-74-379

### 3.2.13 64xx Smart Array コントローラが接続されている Integrity サーバーにおける VMS84I\_UPDATE-V0700 キットの問題

キット名： VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0300

問題の説明：

VMS84I\_UPDATE-V0700 アップデートキットをインストールすると、SA64xx に接続されている論理ユニット (LUN) がオフラインになるという問題がありました。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.STB

この問題を報告している Quix：

QXCM1001228368、QXCM1001227882

### 3.2.14 BL860c/870c/890c i2 で LAN フェールオーバーデバイスが到達不可能になる問題

キット名： VMS84I\_LAN-V0200

問題の説明：

LLAN 上に作成された VLAN デバイスが EW デバイスで構成される場合、BL860c/870c/890c i2 サーバーをリブートした後 50 分で NIC がパケットの送信を停止し、デバイスに到達できなくなるという問題がありました。



関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$ER57711.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$ER57711\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB

この問題を報告している Quix および PTR :

QXCM1001186820、QXCM1001193646、PTR 75-126-255

### 3.2.15 rx2600 の LOM デバイスで開始された VLAN における TCP/IP の障害

キット名 : VMS84I\_LAN-V0200

問題の説明 :

82575 デバイスのポートで実行中の VLAN デバイス上で TCP/IP が構成されている場合、リモートマシンとの TCP/IP 通信が失敗するという問題がありました。この問題は、82575 デバイスが VLAN TAG 情報を発信パケットに埋め込んでいないために発生していました。

この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.STB

この問題を報告している Quix および PTR :

QXCM1001202532、PRT 75-126-254

### 3.2.16 UCB\$L\_LINK ポインターを使用している場合に LAN\$COMPLETE\_RCV\_CSMACD\_C+00B31 で INVEXCEPTN クラッシュが発生する問題

キット名 : VMS84I\_LAN-V0200

問題の説明 :

壊れた UCB 構造体、あるいは存在しない UCB 構造体にアクセスする際の IO DATABASE モジュールとの同期に問題があり、クラッシュが発生する場合があります。この問題を解決するために I/O Database Mutex ロックが使用されます。

関係するイメージ :

- [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.STB

この問題を報告している Quix :

QXCM1001197098

### 3.2.17 SYS\$SETUAI が UAF フィールドの BYTLM および FILLM クォータ値として負の数を受け入れてしまう問題

キット名 : VMS84I\_LOADSS-V0100

問題の説明 :

SYS\$SETUAI が UAF フィールドの BYTLM および FILLM クォータ値として負の数を受け入れ UAF レコードを更新してしまうという問題がありました。この際 \$SETUAI はエラーを返しません。この値の影響を受けるユーザーがその後システムにログインすると、ログイン画面にユーザー名とパスワードを入力した後にシステムがハングするという現象が発生していました。

この問題は、\$SETUAI で BYTLM と FILLM の有効範囲のチェック機能を追加することにより修正されています。この修正により、\$SETUAI は、無効な値に対して BADPARAM エラーを返すようになりました。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]SECURESHRP.EXE
- [SYSLIB]SECURESHR.EXE

この問題を報告している Quix:

QXCM1001217876

### 3.2.18 MIME ユーティリティで送信したファイルが不完全なファイルとして受信される問題

キット名 : VMS84I\_MIME-V0100

問題の説明 :

この問題は、可変レコード形式のファイルには適さない STREAM モードで、特定のタイプのバイナリファイルを MIME がオープンするために発生していました。

関係するイメージ :

- [SYSEXEC]MIME.EXE

この問題を報告している Quix :

QXCM1001160726

### 3.2.19 CONV\$CONVERT() API が SYSTEM-F-ACCVIO (Alpha) あるいは CONV-F-OPENIN (Integrity) でフェールする問題

キット名： VMS84I\_RMS-V0300

問題の説明：

ユーザープログラムで CONV\$PASS\_FILES()、CONV\$PASS\_OPTIONS()、CONV\$CONVERT()などのファイル変換 API が使用された場合、CONV\$CONVERT() API が以下のようなエラーを発行していました。

a. SYSTEM-F-ACCVIO (OpenVMS Alpha の場合)

OpenVMS Alpha でルーチンに渡すファイル数が 18 を超える場合

b. CONV-F-OPENIN (OpenVMS Integrity の場合)

OpenVMS Integrity でルーチンに渡すファイル数が 21 を超える場合

このパッチキットにより、CONV\$CONVERT() API は "INP\_FILES - too many input files" エラーメッセージを発行するようになります。

関係するイメージ：

- [SYSLIB]CONVSHR.EXE

問題を報告している Quix：

QXCM1001148977

### 3.2.20 DCL の COPY コマンドが UNICODE 文字を含む長いファイル指定で使用された場合に適切でないエラーメッセージを発行する問題

キット名： VMS84I\_RMS-V0300

問題の説明：

RMS \$PARSE サービスは、完全ファイル指定のいずれかのディレクトリに UNICODE 文字が含まれる場合、完全ファイル指定の長さが 512 文字を超えると間違って通常の正常終了状態を返します。

COPY ユーティリティは内部的に RMS \$PARSE を使用するため、このようなファイル指定でコールされた場合に、%RMS-F-DIR, error in directory name という本来のエラーメッセージの代わりに、%COPY-W-DIRNOTCRE という正しくないエラーメッセージを発行するという問題がありました。

関係するイメージ：

- [SYSSLDR]RMS.EXE
- [SYSSLDR]RMS.STB

問題を報告している PTR：

PTR 75-128-41

### 3.2.21 name.DIR 形式のディレクトリがすでに存在する場合にname^.DIR.DIR 形式のディレクトリファイルを作成できない問題

キット名： VMS84I\_RMS-V0300

問題の説明：

ユーザーディレクトリにname.DIR 形式のファイルが存在する場合、同じディレクトリにname^.DIR.DIR の形式で別のディレクトリを作成しようとする、エラーメッセージ %CREATE-I-EXISTS が返され、ディレクトリの作成が失敗するという問題がありました。

この問題は、ODS-5 ディスクの場合のみ発生していました。

以下に例を示します。

```
$! Following operations should be on an ODS 5 disk
$ set proc/parse_style=extended/case=blind
$ create/dir [.foo]/log
%CREATE-I-CREATED, $10$DKA0:[test.foo] created
$! Now lets try to create another directory
$ create/dir [.foo^.dir]/log
%CREATE-I-EXISTS, [.foo^.dir] already exists
```

関係するイメージ：

- [SYSS\$LDR]RMS.EXE
- [SYSS\$LDR]RMS.STB

問題を報告している Quix：

QXCM1001130537

### 3.2.22 ファイル拡張子が.DIR だがディレクトリではない UNICODE 文字を含むファイルを繰り返しディレクトリ探索するとフェールする問題

キット名： VMS84I\_RMS-V0300

問題の説明：

ファイル拡張子が.DIR だがディレクトリではない UNICODE 文字を含むファイルを再帰的にディレクトリ探索すると DIRECTORY コマンドがフェールするという問題がありました。

以下に例を示します。

```
$ CREATE TESTDIR:[FOO]^U1234.DIR
$ DIRECTORY TESTDIR:[FOO]

Directory TESTDIR:[FOO]
^U1234.DIR;1

Total of 1 file.
```

```
$ DIRECTORY TESTDIR:[FOO...]
Directory TESTDIR:[FOO]

%DIRECT-E-OPENIN, error opening TESTDIR:[FOO.^U1234]*.*;* as input
-RMS-E-ACC, ACP file access failed
-SYSTEM-F-FILNOTACC, file not accessed on channel
^U1234.DIR;1
```

関係するイメージ :

- [SYSSLDR]RMS.EXE
- [SYSSLDR]RMS.STB

問題を報告している Quix :

QXCM1001130537.

### 3.2.23 RMS グローバルバッファ使用時にプロセスがハングする問題

キット名 : VMS84I\_RMS-V0300

問題の説明 :

あるファイルに対して RMS のグローバルバッファが使用されている場合に、このファイルを使用した処理で ENQLM クォータを使い果たすと、読み取られているバケットの CR ロック参照値が負の値になる場合があります。この状態は、そのファイルに対して記録操作を実行している他のプロセスがハングする原因となりました。

この問題は修正されています。

関係するイメージ :

- [SYSSLDR]RMS.EXE
- [SYSSLDR]RMS.STB

問題を報告している Quix :

QXCM1001162749、QXCM1001095873

### 3.2.24 ローカルあるいはリモートのサービス拒否によりログインが失敗するという問題

キット名 : VMS84I\_MUP-V0400

問題の説明 :

ローカルあるいはリモートのサービス拒否によりログインが失敗するという問題が発生する場合があります。この問題は、SYSSACM 対応のログインにも SYSSACM 非対応のログインにも (すなわち ACME および非 ACME ベースの両方のログインで) 発生していました。SYSSACM 非対応のログインの場合は特定のユーザーのみが影響を受けるという状況が発生していました。

この問題は修正されています。

VMS84I\_UPDATE-V0800 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

関係するイメージ :

- [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESHR.EXE

この問題を報告している Quix :

QXCM1001244224

3.2.25 SORT ユーティリティで大きなファイル进行处理した場合に INSVIRMEM エラーが発生する問題

キット名 : VMS84I\_SORT32-V0100

ソート操作の対象としてサイズの大きなファイル进行处理すると、メモリーを使い果たしてしまう場合があります。

この問題を解決するために、SORT が利用できるメモリーの上限を従来の 2 倍に増やしています。この新しい上限は、非常に大きなファイルをソートする際など、従来のメモリー上限値では足りない場合のみ使用されます。

関係するイメージ :

- [SYSLIB]SORTSHR.EXE

この問題を報告している Quix および PTR

QXCM1001157779, PTR 75-126-225

---

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキット についての情報

VMS84I\_UPDATE-V0800 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。本書の第 3 章では、VMS84I\_UPDATE-V0800 で新たに提供するパッチキットに関する情報を提供していますが、それ以外のパッチキットによる修正についての情報は、本キットと共にインストールされる以下のリリース・ノートで参照できます。

- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DEBUG-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FORRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOADSS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MIME-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MSCP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0200.RELEASE\_NOTES

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SORT32-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0700.RELEASE\_NOTES

これらをインストール前に参照したい場合は、次のコマンドでキットから取り出すことができます。

- 一度にすべてのリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES VMS84I_UPDATE /VERSION=V8.0 -  
[/file=destination_directory]
```

- 特定のリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
PRODUCT EXTRACT FILE VMS84I_UPDATE /VERSION=V8.0 -  
/SELECT=release_note_name[/DESTINATION=destination_directory]
```

個々の RELEASE\_NOTES ファイルの名前は次のコマンドで確認できます。

```
PRODUCT LIST VMS84I_UPDATE /VERSION=V8.0 /SELECT = *.RELEASE_NOTES
```

なお、VMS84I\_UPDATE-V0600 および VMS84I\_UPDATE-V0700 のリリースノートについては、下記の URL の OpenVMS の Web サイトで日本語で提供されています。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>



---

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]ACC.EXE  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "ACC"  
イメージファイルID： "X-16"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 23-MAY-2011 12:08:23.55  
イメージ・チェックサム： 28484EA0
- [SYSEXE]LOGINOUT.EXE - ACMELOGIN kit  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "LOGINOUT"  
イメージファイルID： "LOGIN98 X-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:53:34.16  
イメージ・チェックサム： FE609706
- [SYSEXE]SETP0.EXE - ACMELOGIN kit  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "SETP0"  
イメージファイルID： "LOGIN98 X-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:54:30.43  
イメージ・チェックサム： 42BF2AD2
- [SYSEXE]ACME\_SERVER.EXE  
イメージ識別情報：  
  
イメージ名： "ACME\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-42"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.58  
イメージ・チェックサム： 65AB664B
- [SYSEXE]AGENS\$FEEDBACK.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "AGEN\$FEEDBACK"  
イメージファイルID： "X-32"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:46.56  
イメージ・チェックサム： 3371A610

#### • [SYSEXE]AUDIT\_SERVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "AUDIT\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:17.11  
イメージ・チェックサム： F21A75BC

#### • [SYSEXE]AUTHORIZE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "AUTHORIZE"  
イメージファイルID： "X-31"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:12.67  
イメージ・チェックサム： EC0031F

#### • [SYSEXE]BACKUP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "BACKUP"  
イメージファイルID： "V8.4"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 30-SEP-2010 11:00:46.82  
イメージ・チェックサム： EA94BE55

#### • [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "BACKUPSHR"  
イメージファイルID： "V8.4"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-MAY-2011 18:00:24.32  
イメージ・チェックサム： 3AF272ED

#### • [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COMPARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$COMPARE"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:09:59.35  
イメージ・チェックサム： 1CCCCAC3

• [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COPY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$COPY"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:09:39.02  
イメージ・チェックサム： 7C0C5E6

• [SYSEXEC]CDDVD\$CP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$CP"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 19:10:22.25  
イメージ・チェックサム： D101AA6C

• [SYSMSG]CDDVD\$MESSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDDVD\$MESSG"  
イメージファイルID： "CDDVD V1.0-1"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 28-NOV-2010 17:24:33.20  
イメージ・チェックサム： 33F0FBC8

• [SYSEXEC]CDU.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "CDU"  
イメージファイルID： "I01-11"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:17.42  
イメージ・チェックサム： 397B73B2

• [SYSMSG]CLIUTLMSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CLIUTLMSG"  
イメージファイルID： "X-3"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:35:25.65  
イメージ・チェックサム： 7B9DF1AC

- [SYSLIB]CLUE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CLUE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-69"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-MAR-2012 18:18:46.91  
イメージ・チェックサム： 81DF87CB

- [SY\$SLDR]CNX\$DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CNX\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:47.78  
イメージ・チェックサム： 7323B449

- [SYSEXEXE]CONVERT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CONVERT"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:35.15  
イメージ・チェックサム： 29501629

- [SYSLIB]CONVSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CONVSHR"  
イメージファイルID： "X1-012"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:30:46.01  
イメージ・チェックサム： 6B40D389

- [SYSEXEXE]COPY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "COPY"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.31  
イメージ・チェックサム： 46E9F9D

• [SYSLIB]DBG\$HA\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBG\$HA\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:31.81  
イメージ・チェックサム： F15DFC01

• [SYSLIB]DBG\$HA\_MAIN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBG\$HA\_MAIN"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:27.88  
イメージ・チェックサム： 26E710E6

• [SYSEXE]DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$HOST\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:12.51  
イメージ・チェックサム： E58D00ED

• [SYSEXE]DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:15.06  
イメージ・チェックサム： 20F2A7EC

• [SYSEXE]DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:16.92  
イメージ・チェックサム： B549FCE7

- [SYSMMSG]DBGTBKMSG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DBGTBKMSG"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:16.10  
イメージ・チェックサム： 18D626C7

- [SYSLIB]DCE\$LIB\_SHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DCE\$LIB\_SHR"  
イメージファイルID： "DCE V3.2-100509"  
リンカーID： "Linker I02-17"  
リンク日時： 10-MAY-2010 02:54:11.62  
イメージ・チェックサム： 1E7AB502

- [SYSEXEXE]DCL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DCL"  
イメージファイルID： "X-54"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-APR-2012 14:08:01.23  
イメージ・チェックサム： E1B408A1

- [SYSLIB]DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUG"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:07.10  
イメージ・チェックサム： 243C847E

- [SYSLIB]DEBUGSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGSHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:39.26  
イメージ・チェックサム： F52B8527

• [SYSLIB]DEBUGSRVSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGSRVSHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:01.54  
イメージ・チェックサム： E8516CBD

• [SYSLIB]DEBUGISHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEBUGISHR"  
イメージファイルID： "V8.4-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:19:16.02  
イメージ・チェックサム： A088619A

• [SYSLIB]DEC\$BASRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEC\$BASRTL"  
イメージファイルID： "V01-037"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:33:18.80  
イメージ・チェックサム： 75945AF4

• [SYSLIB]DEC\$FORRTL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "DEC\$FORRTL"  
イメージファイルID： "V01-07.004"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-FEB-2012 12:58:49.90  
イメージ・チェックサム： AFAA15AA

• [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DECC\$SHR"  
イメージファイルID： "V8.4-00"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000070"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-MAR-2012 17:23:11.35  
イメージ・チェックサム： B91E0D25

- [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DECC\$SHRP"  
イメージファイルID： "V8.4-00"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000070"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-MAR-2012 17:23:10.24  
イメージ・チェックサム： F2CF5392

- [SYSEXEXE]DELETE.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DELETE"  
イメージファイルID： "X-05"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.37  
イメージ・チェックサム： 101CEC7D

- [SYSEXEXE]DIFF.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DIFF"  
イメージファイルID： "X-12"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.22  
イメージ・チェックサム： 2D361DA1

- [SYSEXEXE]DIRECTORY.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "DIRECTORY"  
イメージファイルID： "X02-01"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:40.48  
イメージ・チェックサム： 4AE1F8CB

- [SYSLIB]DPML\$SHR.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "DPML\$SHR"  
イメージファイルID： "T01-018"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:15:22.89  
イメージ・チェックサム： B2865D89

• [SYSLIB]EDTSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EDTSHR"  
イメージファイルID： "1-050"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:15:26.98  
イメージ・チェックサム： 28651612

• [SYSEXE]EFISBCFG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EFISBCFG"  
イメージファイルID： "X-43"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:54.84  
イメージ・チェックサム： 6F7BEF2A

• [SYSLIB]ENCRYP\$HR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYP\$HR"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:30:31.13  
イメージ・チェックサム： F1A8341D

• [SYSEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYPT\$AUTH"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:37.98  
イメージ・チェックサム： 1510EBD1

• [SYSM\$G]ENCRYPT\$\_MSG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ENCRYPT\$\_MSG"  
イメージファイルID： "ENCRYPT V2.2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000065"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:32.41  
イメージ・チェックサム： A147CE2E

- [SYSEXE]ERRFMT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ERRFMT"  
イメージファイルID： "X-22"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:37.32  
イメージ・チェックサム： 670DAF21

- [SYSSLDR]ERRORLOG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ERRORLOG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:03.30  
イメージ・チェックサム： 4696DD8F

- [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "EXCEPTION"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:29.33  
イメージ・チェックサム： 37826890

- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "EXCEPTION\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:30.63  
イメージ・チェックサム： 37826890

- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "EXEC\_INIT"  
イメージファイルID： "X-217"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-FEB-2012 17:02:59.42  
イメージ・チェックサム： B78E5364

• [SYSSLDR]F11BXQP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11BXQP"  
イメージファイルID： "XQP V84R\_RE CFI"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000083"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 24-AUG-2012 14:23:12.47  
イメージ・チェックサム： 459E6D83

• [SYSEXE]F11CACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11CACP"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:16.63  
イメージ・チェックサム： 858832A3

• [SYSEXE]F11DACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "F11DACP"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:17.63  
イメージ・チェックサム： 12EC70DC

• [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "FLT\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:50.37  
イメージ・チェックサム： 5DD7CEA3

• [SYSLIB]FLT\$SDA.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "FLT\$SDA"  
イメージファイルID： "X-8A1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:51.09  
イメージ・チェックサム： 63800810

- [SYSLIB]I64\_CLUE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "I64\_CLUE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-69"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:54.95  
イメージ・チェックサム： 8972E72D

- [SYSEXE]I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL"  
イメージファイルID： "V8.4-000"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:13.42  
イメージ・チェックサム： D4EC58D6

- [SYSLIB]ICC\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "ICC\$SDA"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:17:47.51  
イメージ・チェックサム： 945326A5

- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IMAGE\_MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:12.68  
イメージ・チェックサム： 102AE8D0

- [SYSLIB]IMGDMP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IMGDMP"  
イメージファイルID： "X-72"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:09.05  
イメージ・チェックサム： C088596

• [SYSEXE]INDICTMENT\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "INDICTMENT\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:16.86  
イメージ・チェックサム： 3DA25BA

• [SYSEXE]INSTALL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "INSTALL"  
イメージファイルID： "X-34"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 21-AUG-2010 14:16:25.51  
イメージ・チェックサム： E5727767

• [SYSLIB]IOGEN\$AVIO\_CONFIG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$AVIO\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:20.35  
イメージ・チェックサム： 983985BC

• [SYSLIB]IOGEN\$CISS\_CONFIG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$CISS\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-10"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:56:32.36  
イメージ・チェックサム： 1A93E0A7

• [SYSLIB]IOGEN\$FIBRE\_CONFIG.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$FIBRE\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-39"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:49:45.45  
イメージ・チェックサム： DDEB4425

#### • [SYSLIB]IOGEN\$ISA\_CONFIG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$ISA\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-21"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:07:19.51  
イメージ・チェックサム： A82BC75

#### • [SYSLIB]IOGEN\$SCSI\_CONFIG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IOGEN\$SCSI\_CONFIG"  
イメージファイルID： "X-14"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:20.56  
イメージ・チェックサム： 58D28E83

#### • [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IO\_ROUTINES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000073"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:36:01.20  
イメージ・チェックサム： 44669112

#### • [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "IO\_ROUTINES\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000073"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:36:03.46  
イメージ・チェックサム： AABECD3A

#### • [SYSEXE]IPB.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IPB"  
イメージファイルID： "X-4"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:44:42.63  
イメージ・チェックサム： 138D1C8

• [SYSEXE]IPB\_NOXDELTA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "IPB\_NOXDELTA"  
イメージファイルID： "X-4"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:42.13  
イメージ・チェックサム： 8E9E08DD

• [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LAN\$SDA"  
イメージファイルID： "X-64"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:43.85  
イメージ・チェックサム： C1F162E0

• [SYSEXE]LANACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LANACP"  
イメージファイルID： "X-29"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:09.46  
イメージ・チェックサム： 981E18DE

• [SYSEXE]LANCP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "LANCP"  
イメージファイルID： "X-92"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:06.62  
イメージ・チェックサム： E17E8D49

• [SYSLIB]LBRSHR.EXE

イメージ識別情報：

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "LBRSHR"  
イメージファイルID: "I01-42"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 8-AUG-2011 13:03:54.62  
イメージ・チェックサム: FCC80C2A

- [SYSLIB]LCK\$SDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LCK\$SDA"  
イメージファイルID: "X-28"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 12-AUG-2010 14:58:37.95  
イメージ・チェックサム: E9B49F54

- [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LDAP\$SHR"  
イメージファイルID: "LDAP V2.0-05000"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 22-SEP-2010 17:49:36.81  
イメージ・チェックサム: A9793D82

- [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR"  
イメージファイルID: "LDAP-STD V01.05"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000076"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-JUN-2012 18:06:06.96  
イメージ・チェックサム: AD1BBD12

- [SYSLIB]LIBOTS.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LIBOTS"  
イメージファイルID: "V1.0-1"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 20-OCT-2010 17:52:53.62  
イメージ・チェックサム: 6CBFA382

- [SYSLIB]LIBRTL.EXE

イメージ識別情報:



イメージ名: "LIBRTL"  
イメージファイルID: "X01-001"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:46:29.49  
イメージ・チェックサム: BF0B22F7

• [SYSEXE]LMF.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LMF"  
イメージファイルID: "X-26"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000003"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 11-OCT-2010 15:18:11.29  
イメージ・チェックサム: 405DCFD

• [SYSSLDR]LNMSDEBUG.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LNMSDEBUG"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000002"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-SEP-2010 12:47:01.15  
イメージ・チェックサム: 5978A650

• [SYSLIB]LNMSSDA.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LNMSSDA"  
イメージファイルID: "X-14"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 23-MAY-2011 12:08:52.91  
イメージ・チェックサム: 677D3AF6

• [SYSSLDR]LOCKING.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "LOCKING"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:38.85  
イメージ・チェックサム: 7606F20E

• [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.EXE

イメージ識別情報:

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージ名: "LOGICAL\_NAMES"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 2-FEB-2012 11:31:51.05  
イメージ・チェックサム: 45A4DBF

- [SYSEXE]LOGINOUT.EXE - LOGIN kit

イメージ識別情報:

イメージ名: "LOGINOUT"  
イメージファイルID: "X-54"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000072"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 10-APR-2012 11:53:32.77  
イメージ・チェックサム: 78A5B7E

- [SYSEXE]MACRO.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MACRO"  
イメージファイルID: "50-120-5-50F9M"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:12.29  
イメージ・チェックサム: 85290640

- [SYSEXE]MAIL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MAIL"  
イメージファイルID: "V1.06"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:53.38  
イメージ・チェックサム: 7A9C36D0

- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MESSAGE\_ROUTINES"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "01000000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 8-AUG-2011 13:08:58.31  
イメージ・チェックサム: 97EC7EFE

- [SYSEXE]MIME.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MIME"  
イメージファイルID: "V1.93"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000074"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 4-MAY-2012 13:19:40.01  
イメージ・チェックサム: 663A67EE

• [SYSEXE]MONITOR.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MONITOR"  
イメージファイルID: "X-26"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-JUN-2011 13:34:23.93  
イメージ・チェックサム: AD6E966A

• [SYSEXE]MSA\$UTIL.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MSA\$UTIL"  
イメージファイルID: "X-33"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000072"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 3-APR-2012 14:02:00.32  
イメージ・チェックサム: 8031D7E3

Page 23

• [SYSSLDR]MSCP.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MSCP"  
イメージファイルID: "X-5"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000005"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 5-JAN-2012 16:13:28.11  
イメージ・チェックサム: 6E66B3B1

• [SYSEXE]MTAAACP.EXE

イメージ識別情報:

イメージ名: "MTAAACP"  
イメージファイルID: "X-12"  
イメージファイル・ビルドID: "0100000004"  
リンカーID: "Linker I02-37"  
リンク日時: 19-JUL-2011 16:49:58.55  
イメージ・チェックサム: 97B1EE3E

• [SYSSLDR]NET\$CSMACD.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "CSMACD - NETWORK MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:12.34  
イメージ・チェックサム： AEBE3327

- [SYSEXE]OPCOM.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "OPCOM"  
イメージファイルID： "X-16"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000080"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUL-2012 10:04:07.81  
イメージ・チェックサム： F3A17E70

- [SYSLIB]PE\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PE\$SDA"  
イメージファイルID： "X-23"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:40.77  
イメージ・チェックサム： AF74A4AB

- [SYSLIB]PKM\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PKM\$SDA"  
イメージファイルID： "X-29"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 6-JUL-2010 19:03:08.50  
イメージ・チェックサム： 7C814B0B

- [SYSLIB]PKR\$SDA.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PKR\$SDA"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-MAR-2012 18:20:35.10  
イメージ・チェックサム： 459E9F1D

- [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PRF\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:14.50  
イメージ・チェックサム： B95D9D6F

• [SYSLIB]PRF\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PRF\$SDA"  
イメージファイルID： "X-27"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:12:03.64  
イメージ・チェックサム： 5A37FC1

• [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PROCESS\_MANAGEMENT"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:59.83  
イメージ・チェックサム： 1C79ACA0

• [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PROCESS\_MANAGEMENT\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:32:02.89  
イメージ・チェックサム： 69AC58ED

• [SYSLIB]PTHREAD\$DBGSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "PTHREAD\$DBGSHR"  
イメージファイルID： "V3.22-095"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:16:48.07  
イメージ・チェックサム： 7F892FAD

• [SYSLIB]PTHREAD\$RTL.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "PTHREAD\$RTL"  
イメージファイルID： "V3.22-095"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:16:47.68  
イメージ・チェックサム： FCE15062

#### • [SYSEXE]QMAN\$QUEUE\_MANAGER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "QMAN\$QUEUE\_MANAGER"  
イメージファイルID： "X-3"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:09.01  
イメージ・チェックサム： DDA8CCED

#### • [SYSEXE]RECLAIM.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "RECLAIM"  
イメージファイルID： "X-6"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:36.50  
イメージ・チェックサム： 19AFE135

#### • [SYSEXE]RECOVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "RECOVER"  
イメージファイルID： "X01-03"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:22.15  
イメージ・チェックサム： 39332EE

#### • [SYSSLDR]RMS.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "RMS"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:45.22  
イメージ・チェックサム： 91BF24F4

#### • [SYSEXE]RMSREC\$SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "RMSREC\$SERVER"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:24.38  
イメージ・チェックサム： F221F272

• [SYSEXE]SCACP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SCACP"  
イメージファイルID： "X-38"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000080"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUL-2012 10:03:57.49  
イメージ・チェックサム： CB492413

• [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SDA\$SHARE"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 24-JUN-2011 13:57:24.77  
イメージ・チェックサム： 6A7E3671

• [SYSLIB]SDARMS\$SHARE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SDARMS\$SHARE"  
イメージファイルID： "X-7"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:23.59  
イメージ・チェックサム： 386DE222

• [SYSEXE]SEARCH.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SEARCH"  
イメージファイルID： "X02-09"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:17:55.08  
イメージ・チェックサム： B6C7EED9

• [SYSLIB]SECURESHR.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURESHR"  
イメージファイルID： "X-13"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000081"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 27-JUL-2012 12:31:09.37  
イメージ・チェックサム： 647BB1DE

#### • [SYSLIB]SECURESHRP.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURESHRP"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000081"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 27-JUL-2012 12:31:08.05  
イメージ・チェックサム： AD77852C

#### • [SYSSLDR]SECURITY.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURITY"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:51.96  
イメージ・チェックサム： B8E7C7A0

#### • [SYSSLDR]SECURITY\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SECURITY\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:54.50  
イメージ・チェックサム： 8EDF3190

#### • [SYSEXE]SET.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SET"  
イメージファイルID： "X02-00"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:36:35.09  
イメージ・チェックサム： D9FAA0C1

#### • [SYSEXE]SETP0.EXE - LOGIN kit



イメージ識別情報：

イメージ名： "SETP0"  
イメージファイルID： "X-3K2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 10-APR-2012 11:54:30.78  
イメージ・チェックサム： 215EB1E7

• [SYSEXE]SETSHOSERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SETSHOSERVER"  
イメージファイルID： "X-2"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:35:25.04  
イメージ・チェックサム： FCB8703F

• [SYSEXE]SETSHOSHADOW.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SETSHOSHADOW"  
イメージファイルID： "X-02"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:55.43  
イメージ・チェックサム： 743C4B18

• [SYSEXE]SHADOW\_SERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHADOW\_SERVER"  
イメージファイルID： "X-29"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:47.27  
イメージ・チェックサム： 6D515BCD

• [SYSSLDR]SHELL16K.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL16K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:10.39  
イメージ・チェックサム： B1DC91B0

• [SYSSLDR]SHELL32K.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL32K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:13.44  
イメージ・チェックサム： 73F34B95

#### • [SYSSLDR]SHELL64K.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL64K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:15.75  
イメージ・チェックサム： E62635F8

#### • [SYSSLDR]SHELL8K.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SHELL8K"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:05.90  
イメージ・チェックサム： 5C0A23FF

#### • [SYSEXEXE]SHOW.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SHOW"  
イメージファイルID： "X-8"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:19:28.98  
イメージ・チェックサム： 20FA83BE

#### • [SYSEXEXE]SHWCLSTR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SHWCLSTR"  
イメージファイルID： "X-27"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:59:12.78  
イメージ・チェックサム： 3A7043B9

#### • [SYSLIB]SMGSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMGSHR"  
イメージファイルID： "SMG\$ X1.0-001"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:56:20.10  
イメージ・チェックサム： 2DD21893

• [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMI\$OBJSHR"  
イメージファイルID： "X40-A9"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:41.28  
イメージ・チェックサム： D889DCB5

• [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMI\$SHR"  
イメージファイルID： "X01-04"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:37.75  
イメージ・チェックサム： 2689105E

• [SYSEXE]SMISERVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMISERVER"  
イメージファイルID： "X01-15"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:46.89  
イメージ・チェックサム： 5EFEDD90

• [SYSEXE]SMPUTIL.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SMPUTIL"  
イメージファイルID： "X-30"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:06.48  
イメージ・チェックサム： 4ECACE4

• [SYSEXE]SORTMERGE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SORTMERGE"  
イメージファイルID： "V08-014"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:22.07  
イメージ・チェックサム： 25CCC85E

• [SYSLIB]SORTSHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SORTSHR"  
イメージファイルID： "V08-013"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000077"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 18-JUN-2012 13:58:52.15  
イメージ・チェックサム： 2260F754

• [SYSLIB]SPL\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SPL\$SDA"  
イメージファイルID： "X-43"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:11:24.22  
イメージ・チェックサム： 1E5B7D4B

• [SYSSLDR]SWIS\$DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SWIS\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:29.86  
イメージ・チェックサム： E4C99ED7

• [SYSLIB]SWIS\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SWIS\$SDA"  
イメージファイルID： "X-6"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:31.90  
イメージ・チェックサム： 524C27CD

• [SYSSLDR]SYS\$BASE\_IMAGE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$BASE\_IMAGE"  
イメージファイルID： "IA64 XCD0-J2I"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 24-JUN-2011 13:54:01.09  
イメージ・チェックサム： D69A04B4

• [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$CLUSTER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:05.01  
イメージ・チェックサム： 66CA2B53

• [SYS\$LDR]SYS\$CLUSTER\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$CLUSTER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:24.22  
イメージ・チェックサム： 234332F7

• [SYS\$LDR]SYS\$CMDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$CMDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:55.59  
イメージ・チェックサム： C96897F

• [SYS\$LDR]SYS\$CTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$CTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:12.31  
イメージ・チェックサム： 53813CDB

• [SYS\$LDR]SYS\$DADDRIVER.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DADDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:29.03  
イメージ・チェックサム： 9A2553B8

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DKBTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DKBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000072"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-APR-2012 13:59:41.29  
イメージ・チェックサム： 7344110D

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DKDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DKDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:14.05  
イメージ・チェックサム： E78E73E3

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DNDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DNDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:36.29  
イメージ・チェックサム： 644C8CD6

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DQDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DQDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-MAR-2012 18:18:57.12  
イメージ・チェックサム： F8BE3F77

#### • [SYS\$LDR]SYS\$DZCDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$DZCDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:46.35  
イメージ・チェックサム： ECE337BB

• [SYS\$LDR]SYS\$EHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EHCIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:08.54  
イメージ・チェックサム： BB806079

• [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EI1000DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:36.84  
イメージ・チェックサム： 1A05CB74

• [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EI1000DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:37.30  
イメージ・チェックサム： 8853FD7

• [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-SEP-2010 16:28:07.44  
イメージ・チェックサム： 3EE9231A

• [SYS\$LDR]SYS\$EIDRIVER\_MON.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EIDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 7-SEP-2010 16:28:07.87  
イメージ・チェックサム： 86A65966

#### • [SYS\$LDR]SYS\$EIGBTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EIGBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:50:51.03  
イメージ・チェックサム： B66A8957

#### • [SYS\$LDR]SYS\$ER57711.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.30  
イメージ・チェックサム： 2ACF2378

#### • [SYS\$LDR]SYS\$ER57711\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.66  
イメージ・チェックサム： EB587791

#### • [SYS\$LDR]SYS\$EW5700.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW5700DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:35.75  
イメージ・チェックサム： 6DF5C2C1

#### • [SYS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW5700DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:36.25  
イメージ・チェックサム： 215277F3

• [SYS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.30  
イメージ・チェックサム： 2ACF2378

• [SYS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EW57711DRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:40.66  
イメージ・チェックサム： EB587791

• [SYS\$LDR]SYS\$EWXFRAME.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EWXFRAMEDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:17.81  
イメージ・チェックサム： 23C180CD

• [SYS\$LDR]SYS\$EWXFRAME\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$EWXFRAMEDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-OCT-2010 16:33:18.20  
イメージ・チェックサム： B64AAFCD

• [SYS\$LDR]SYS\$FGEDRIVER.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$FGEDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:22.48  
イメージ・チェックサム： 43731648

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GHDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GHDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-100903"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:59:16.70  
イメージ・チェックサム： 9D71158B

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GLDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GLDRIVERDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:47.42  
イメージ・チェックサム： E58D5824

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GLDRIVER\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GLDRIVERDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:50.51  
イメージ・チェックサム： DC02EB42

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GSPBTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GSPBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:27.30  
イメージ・チェックサム： 8D292EB3

#### • [SYS\$LDR]SYS\$GSPDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$GSPDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:50.38  
イメージ・チェックサム： 8819DE61

• [SYS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HUBDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 5-MAY-2011 18:01:31.50  
イメージ・チェックサム： 195A57D

• [SYS\$LDR]SYS\$HWP0001.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HWP0001"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:27.37  
イメージ・チェックサム： 3083FF7

• [SYS\$LDR]SYS\$HWP0004.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$HWP0004"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:30.81  
イメージ・チェックサム： BEFFC254

• [SYS\$LDR]SYS\$IKUDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IKUDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-101104"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 18:16:07.43  
イメージ・チェックサム： 3D49C68C

• [SYS\$LDR]SYS\$IKXDRIVER.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IKXDIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-101104"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 18:15:47.02  
イメージ・チェックサム： 8C69C757

#### • [SYS\$LDR]SYS\$IMUDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IMUDRIVER"  
イメージファイルID： "DW V8.4-101104"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 18:16:13.84  
イメージ・チェックサム： 9FF28778

#### • [SYS\$LDR]SYS\$IPC\_SERVICES.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$IPC\_SERVICES"  
イメージファイルID： "V1.3-X03E-XCD8"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:45.47  
イメージ・チェックサム： E771736A

#### • [SYS\$LDR]SYS\$LAN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LAN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:42.86  
イメージ・チェックサム： C7EEB01

#### • [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LAN\_CSMACD"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000076"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUN-2012 18:06:44.68  
イメージ・チェックサム： 8CFF4488

#### • [SYS\$LDR]SYS\$LASTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LASTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 6-JUL-2010 19:02:07.00  
イメージ・チェックサム： EE4DD88B

• [SYS\$LDR]SYS\$LLDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$LLDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:08.84  
イメージ・チェックサム： 2F9ACFD8

• [SYS\$LDR]SYS\$MKDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$MKDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:07.12  
イメージ・チェックサム： 178ABECA

• [SYS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$OHCIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 20-OCT-2010 18:18:02.22  
イメージ・チェックサム： 51D6991A

• [SYS\$LDR]SYS\$PCIE\_SUPPORT.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PCIE\_SUPPORT"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:53.70  
イメージ・チェックサム： BFFB6434

• [SYS\$LDR]SYS\$PCI\_SUPPORT.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PCI\_SUPPORT"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000000"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 14-MAY-2010 23:10:20.78  
イメージ・チェックサム： DF096D31

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PEDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000077"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 18-JUN-2012 14:02:12.16  
イメージ・チェックサム： F1398C6E

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PEDRIVER\_MON"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000077"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 18-JUN-2012 14:02:24.92  
イメージ・チェックサム： 13A68DEE

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PGQBTDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PGQBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:48.71  
イメージ・チェックサム： A295000C

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PGQDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 24-JUN-2011 13:57:35.66  
イメージ・チェックサム： A54DB5B5

#### • [SYS\$LDR]SYS\$PKDDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKDDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 9-SEP-2011 13:36:15.09  
イメージ・チェックサム： B514E52C

• [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKMDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:32.10  
イメージ・チェックサム： E3F97B77

• [SYS\$LDR]SYS\$PKRBTDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKRBTDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000073"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 17-APR-2012 20:44:43.99  
イメージ・チェックサム： B05474E1

• [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKRDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000082"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-AUG-2012 13:50:08.47  
イメージ・チェックサム： 5D51C671

• [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PKWDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 15-SEP-2010 15:51:10.63  
イメージ・チェックサム： D54F31DE

• [SYS\$LDR]SYS\$PLATFORM\_SUPPORT.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$PLATFORM\_SUPPORT"  
イメージファイルID： "X-35"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:17:48.80  
イメージ・チェックサム： 4C36B79A

#### • [SYSLIB]SYS\$SETBOOTSHR.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$SETBOOTSHR"  
イメージファイルID： "SB V6.0-1"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:57:19.00  
イメージ・チェックサム： 53D38BCD

#### • [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$SHDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:09.82  
イメージ・チェックサム： 1E291A07

#### • [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$SRDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:12.96  
イメージ・チェックサム： 51BE4C5

#### • [SYS\$LDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$TRANSACTION\_SERVICES"  
イメージファイルID： "V2.1-X035-XCBE"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 30-SEP-2010 11:00:42.87  
イメージ・チェックサム： E27F8FDA

#### • [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.EXE



イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$UGDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 23-MAY-2011 12:09:08.68  
イメージ・チェックサム： A71A64C6

• [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$UHCIDRIVER"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:19.30  
イメージ・チェックサム： 20467B2F

• [SYS\$LDR]SYS\$VM.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$VM"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:54.93  
イメージ・チェックサム： 354B6830

• [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$XFCACHE"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:12.01  
イメージ・チェックサム： D551A831

• [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYS\$XFCACHE\_MON"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:13.80  
イメージ・チェックサム： 718A5C48

• [SYSEXE]SYSBOOT.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSBOOT"  
イメージファイルID： "X-154"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:31:53.30  
イメージ・チェックサム： 379E7EC5

- [SYSEXE]SYSGEN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSGEN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 4-NOV-2010 17:41:02.20  
イメージ・チェックサム： F8361FE8

- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSGETSYI"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:29.79  
イメージ・チェックサム： 73E9C6B1

- [SYSEXE]SYSINIT.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSINIT"  
イメージファイルID： "X-128"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 8-AUG-2011 13:07:00.32  
イメージ・チェックサム： 2527AE0E

- [SYS\$LDR]SYSLDR\_DYN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSLDR\_DYN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:47:31.51  
イメージ・チェックサム： 7DCF2B47

- [SYSEXE]SYSMAN.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSMAN"  
イメージファイルID： "X01-22"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:49:44.40  
イメージ・チェックサム： B1C5F015

• [SYSMMSG]SYSMGTMSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSMGTMSG"  
イメージファイルID： "X-4"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000068"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-MAR-2012 10:35:26.73  
イメージ・チェックサム： F5F818D0

• [SYSMMSG]SYSMMSG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSMMSG"  
イメージファイルID： "X-9"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000069"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-JUL-2012 10:03:48.70  
イメージ・チェックサム： 9CA105D3

• [SYSSLDR]SYSTEM\_DEBUG.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:51.90  
イメージ・チェックサム： 2CB6F89A

• [SYSSLDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_PRIMITIVES"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "01000000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:32:08.28  
イメージ・チェックサム： 89E343D1

• [SYSSLDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000005"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 2-FEB-2012 11:32:11.75  
イメージ・チェックサム： 96E8B14A

- [SYSSLDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:52.40  
イメージ・チェックサム： 161C2D6A

- [SYSSLDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:50.40  
イメージ・チェックサム： D14A8BAA

- [SYSSLDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000001"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-SEP-2010 12:46:53.59  
イメージ・チェックサム： D6B3BD38

- [SYSSLDR]TR\$DEBUG.EXE

### イメージ識別情報：

イメージ名： "TR\$DEBUG"  
イメージファイルID： "X-5"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:28.03  
イメージ・チェックサム： 52C5C475

- [SYSLIB]TR\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TR\$SDA"  
イメージファイルID： "X-18"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 11-OCT-2010 15:18:28.48  
イメージ・チェックサム： 581D8D55

• [SYSLIB]TRACE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TRACE"  
イメージファイルID： "V8.3-003"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-MAR-2011 12:16:03.43  
イメージ・チェックサム： C71D9CD2

• [SYSEXE]TYPE.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "TYPE"  
イメージファイルID： "X-28"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:54.13  
イメージ・チェックサム： 33BD59CC

• [SYSTEST]UETINIT00.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "UETINIT00"  
イメージファイルID： "X-48"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:24.84  
イメージ・チェックサム： 87C4672D

• [SYSLIB]USB\$SDA.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "USB\$SDA"  
イメージファイルID： "X-34"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 1-JUL-2011 15:18:27.10  
イメージ・チェックサム： BDAC4346

• [SYSEXE]VERIFY.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VERIFY"  
イメージファイルID： "X-28"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 19-JUL-2011 16:50:02.44  
イメージ・チェックサム： 351D0CC5

• [SYSLIB]VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM"  
イメージファイルID： "X-20"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000004"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 3-JUN-2011 13:34:08.44  
イメージ・チェックサム： 2F17FA11

• [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESHR.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VMS\$VMS\_ACMESHR"  
イメージファイルID： "V1.0"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000090"  
リンカーID： "Linker I02-38"  
リンク日時： 29-OCT-2012 14:37:17.25  
イメージ・チェックサム： 2BDD6483

• [SYSEXEC]VMSHELP.EXE

イメージ識別情報：

イメージ名： "VMSHELP"  
イメージファイルID： "X-4"  
イメージファイル・ビルドID： "0100000002"  
リンカーID： "Linker I02-37"  
リンク日時： 12-AUG-2010 14:58:20.35  
イメージ・チェックサム： E616A288

• [SYSUPD]ACCOUNTIN.HLP

• [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF

• [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT

• [SYSUPD]ANALYZE.HLP

• [SYSUPD]AUTOGEN.COM

• [SYSUPD]AUTOGEN\_LM.COM

• [SYSUPD]BACKUP.CLD

• [SYSUPD]BACKUP.HLP

• [SYSLIB]BASIC\$STARLET.TLB

- [SYSMGR]BOOT\_OPTIONS.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG\_LAN.COM
- [SYS\$LDR]CNX\$DEBUG.STB
- [SYSUPD]COPY.CLD
- [SYSUPD]CRTL.HLP
- [SYSLIB]CXXL\$ANSI\_DEF.TLB
- [SYSHLP]DBG\$HELP.HLB
- [SYSUPD]DCLDICT.HLP
- [SYSUPD]DECC\$RTLDEF.FOR\_RELEASE
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\$EXAMPLES.TXT
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_3DES.C
- [SYS\$LDR]ERRORLOG.STB
- [SYS\$LDR]EXCEPTION.STB
- [SYS\$LDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYS\$LDR]EXEC\_INIT.STB
- [SYS\$LDR]F11BXQP.STB
- [SYS\$LDR]FLT\$DEBUG.STB
- [SYSEXE]FTP.EFI
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL.COM
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM
- [SYSEXE]IFCONFIG.EFI
- [SYS\$LDR]IMAGE\_MANAGEMENT.STB
- [SYSEXE]INS\_STARTUP.COM
- [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYS\$LDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB
- [SYSHLP]LANCP\$HELP.HLB
- [SYS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI\_TEMPLATE
- [SYSHLP.EXAMPLES]LDAP\_EXAMPLE.C
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSUPD]LIBRARY.HLP

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYSSLDR]LNM\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]LOCKING.STB
- [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.STB
- [SYSHLP]MAILHELP.HLB
- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.STB
- [SYSHLP]MSA\_UTIL\_HELP.HLB
- [SYSSLDR]MSCP.STB
- [SYSHLP]MSGHLP\$LIBRARY.MSGHLP\$DATA
- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.STB
- [SYSEXEXE]OPCOM.STB
- [SYSEXEXE]PCSI\_EFIBACKUP.COM
- [SYSEXEXE]PCSI\_EFIINSTALL.COM
- [SYSEXEXE]PING.EFI
- [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB
- [SYSSLDR]RMS.STB
- [SYSSLDR]RMSDEF.STB
- [SYSEXEXE]ROUTE.EFI
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSHLP]SDA.HLB
- [SYSSLDR]SECURITY.STB
- [SYSSLDR]SECURITY\_MON.STB
- [SYSEXEXE]SHADOW\_SERVER.STB
- [SYSEXEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.PDF
- [SYSEXEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.TXT
- [SYSSLDR]SHELL16K.STB
- [SYSSLDR]SHELL32K.STB
- [SYSSLDR]SHELL64K.STB
- [SYSSLDR]SHELL8K.STB
- [SYSEXEXE]SHUTDOWN.COM



- [SYSLIB]SMGSHR.STB
- [SYSLIB]STARLET.MLB
- [SYSLIB]STARLET.R64
- [SYSLIB]STARLET.REQ
- [SYSLIB]STARLETPAS.TLB
- [SYSLIB]STARLETS.D.TLB
- [SYSSLDR]SWISS\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CLUSTER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CLUSTER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CMDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$CTDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DADDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DNDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$DQDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EHCIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EI1000.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EI1000\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EIDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EIDRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW5700.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW5700\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$EW57711DRIVER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$FGEDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$GHDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$GSPDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$HUBDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$IKUDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$IKXDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$IMUDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.STB
- [SYSSLDR]SYSS\$LAN.STB

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$LASTDRIVER.STB
- [SYS\$LIB]SYS\$LIB\_C.TLB
- [SYS\$LDR]SYS\$LLDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$MKDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PKDDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.STB
- [SYS\$LIB]SYS\$STARLET\_C.TLB
- [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.STB
- [SYSHLP]SYSGEN.HLB
- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$LDR\_DYN.STB
- [SYSHLP]SYSMANHELP.HLB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB
- [SYSUPD]SYSTEM.HLP
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.STB

- [SYSUPD]SYS\_PARAMETERS.HLP
- [SYSEXEXE]TCPIP4.EFI
- [SYS\$LDR]TR\$DEBUG.STB
- [SYSHLP]UAFHELP.HLB
- [SYSUPD]UTIL\_ROUTINES.HLP
- [SYS\$STARTUP]VMS\$CONFIG-050\_SHADOW\_SERVER.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$DEVICE\_STARTUP.COM
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0200\_COVER.TXT
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0500\_COVER.TXT
- [SYSUPD]VMSINSTAL.COM
- [SYSMSG]VMSINSTAL\_LANGUAGE.COM
- [SYSEXEXE]VMS\_BCFG.EFI
- [SYSEXEXE]VMS\_LOADER.EFI
- [SYSEXEXE]VMS\_SET.EFI
- [SYSEXEXE]VMS\_SHOW.EFI
- [SYSHLP]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.PDF

